

# 東京 2020D&I アクション

## -誰もが生きやすい社会を目指して-

東京 2020 大会は、その大会ビジョン「スポーツには世界と未来を変える力がある。」の基本コンセプトとして「全員が自己ベスト」「多様性と調和」「未来への継承」を掲げています。「東京 2020D&I アクション -誰もが生きやすい社会を目指して-」も、これらの考えに基づいています。

新型コロナウイルス感染症による新たな差別や格差の拡大といった社会の分断が深まる中、大会に参加する多様な個性がある多くの人が、自分らしさを発揮して、違いを認め合い、違いを活かしながら協力することのすばらしさを改めて認識する場が、東京 2020 大会です。

私たち一人ひとりには、人種、肌の色、性別、性的指向、性自認、障がい、言語、宗教、政治的又はその他の意見、国あるいは社会のルーツ、財産、出自やその他の身分などの理由による、いかなる種類の差別がなく、互いを認め合い、誰もが自分らしく生きられる共生社会を目指します。

東京 2020 大会を契機として、私たちの社会と未来に向けて何ができるかを考え、大会後も実践していくものとして、私たちのアクションを宣言します。

### 1 ジェンダー・LGBTQ

- ・ 女性理事の目標割合を設定し、達成に向けた具体的方策を検討する。
- ・ 女性やLGBTQのアスリートが自分らしくプレーできる環境を整備する。

### 2 障がい・心身機能

- ・ 健常者と障がい者が一緒にスポーツをする環境を増やす。
- ・ パラアスリートの競技力向上を図る競技団体を積極的にサポートする。

### 3 世代・ライフステージ

- ・ 様々なライフステージに合ったスポーツの参加方法を提供する。
- ・ アスリートの引退後のキャリアアップに必要な環境を整える。

### 4 文化・習慣・出自

- ・ 採用時等に出身地や国籍で判断しない。
- ・ 外国語を学び、外国人選手と積極的に会話する。

2021年9月2日

公益財団法人 長野県スポーツ協会  
理事長 林 泰 章

